

平成22年度 地域密着型金融の取組みについて

興産信用金庫

地域密着型金融への取組みについては、平成15年度～平成16年度に実施した「リレーションシップバンキングの機能強化計画に関するアクションプログラム」の取組みから平成17年度～平成18年度「地域密着型金融推進計画」に受け継がれ、平成19年度からは、引き続きリレーションシップバンキングの考え方を踏まえた上で、恒久的な枠組みの中で、各金融機関の特性を活かしながら推し進めていくこととなっております。ここに平成22年4月より23年3月までの当金庫の取組みについてとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

1. 地域密着型金融への取組みについて

平成22年度においては、中期経営計画の3年目として、様々な施策による取組みによって、地域における存在感を高めていけるよう努めてまいりました。中期経営計画の中でも地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は重要なキーワードとしており、千代田区に本店を置く都市信用金庫として、地元中小企業に対し、金融仲介機能を通じて事業資金のご融資や経営改善・事業再生への取組みによりご支援させていただきました。

(1) 創業・新事業支援

創業等をお考えの先又は創業等間もない先に対し、情報や資金の支援を行っていくことに注力してまいりました。

- ・ 情報支援については、東京都中小企業振興公社、日本パートナー税理士法人、日本パートナー社労士法人と提携し、経営情報の提供や個別相談を実施しました。
- ・ 資金支援としては、東京信用保証協会 創業アシストプラザによる保証制度を活用した制度融資、東京都中小企業振興公社の評価に基づく当金庫プロパー融資の新商品「ニュービジネス アシスト」を発売。
- ・ 当金庫が協賛する「千代田ビジネス起業塾」にて金庫職員が講師を務めました。
- ・ 創業・新事業支援の融資実績

「創業アシストプラザによる保証を活用した制度融資」 [34件](#) [250百万円](#)

(2) 事業再生・経営支援

平成15年9月に事業先支援による地域貢献と地元企業の資産健全化による経営体質の強化を図ることを目的として、審査部に事業再生・経営改善支援の専担部署として“経営サポートセンター”を設置し、平成23年3月末現在では中小企業診断士を含む5名体

制により取組んでいます。

- ・ 金融円滑化法等に基づき貸付条件の変更等を行ったお客様に対する助言・提案の実施、またホームページに経営改善計画書策定ツールを掲載するなど、コンサルティング機能を発揮する体制を整備しております。
- ・ 経営サポートセンターと営業店の連携による改善支援の他にも、中小企業再生支援協議会の活用やD I Pファイナンスの実施等、多様な手法にて再生をおこなっています。

<平成 22 年度 (22 年 4 月～23 年 3 月) 経営改善支援等の取組み実績>

	(単位:先数)					(単位:%)		
	期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組み先 数	α のうち期 末に債務者 区分がラン クアップした 先数	α のうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数	α のうち再 生計画を策 定した先数	経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率
			β	γ	δ			
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先 ①	4,688	1		0	1	0.0%		100.0%
要注意 先のうち その他 要管理先 ②	1,408	24	0	22	20	1.7%	0.0%	83.3%
破綻懸念先 ④	107	10	0	9	9	9.3%	0.0%	90.0%
実質破綻先 ⑤	136	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先 ⑥	77	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	1,741	36	0	33	30	2.1%	0.0%	83.3%
合計	6,429	37	0	33	31	0.6%	0.0%	83.8%

(3) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

地域の中小企業においては、急激な景気の冷え込みによって業況が悪化しており、当金庫としては資金繰り安定化を支援していくために、無担保融資等への取組みに注力してまいりました。

- ・ 平成 15 年 10 月発売より継続している無担保融資商品「企業活性化融資 アシスト 1000」を積極的に推進しました。
実績 82件 583百万円
- ・ 平成 20 年度から中小企業支援対策として実施しております「全国緊急保証制度」をはじめとする保証協会制度融資を積極的に活用し、支援してまいりました。
累計実績 3,540先 60,741百万円